

測位衛星「みちびき」を利用した測量キットの開発支援

■支援の概要

測量機器は非常に高額で、かつ基準機の設置が必要です。準天頂測位衛星「みちびき」は日本の衛星測位システム(GNSS)であり、CLAS(センチメートル級測位サービス)は、国土地理院が全国に整備している電子基準点を用いて補正情報を計算し、その情報を配信しています。このCLASを利用することで単独で、cm精度の測位が可能となることから、CLASを用いた測量キットの開発支援を行いました。

■支援の項目

- ①測位衛星「みちびき」を利用したビジネスアイデアの検討
- ②「みちびき」を利用した実証事業(内閣府宇宙開発戦略事務局)の進捗支援



■支援の成果

- ①CLASを用いた精度把握と課題抽出
- ②2022年5月に測量キットとして商品化